

カワウソ探検隊！！

知っているようで知らないカワウソの生態について

●はじめに

このページに何を書こうか迷っていたら、ベッドの上でちょこんと座っているカワウソのぬいぐるみと目が合った。まるで「私のこともっと知ってほしい！」と言っているかのようで、思わずカワウソについて書くことに決めました。

①カワウソ基本情報

カワウソはネコ目カワウソ亜科に属する肉食動物で、日本にも生息していましたが、密輸問題や乱獲、環境汚染により約30年前には絶滅してしまいました。

社会的で人懐っこい性格が特徴で、群れで行動することが多いです。そしてなんととっても頭がいい！トイレの場所を覚えたり、水族館での芸を披露したりする姿は見ていると飽きません。(私は水族館はもちろん、カワウソカフェやカワウソのYouTubeチャンネルでも知識をマスター済みです。)

②カワウソ豆知識

基本情報は抑えたところで、さらに深掘りしてみましょう。

カワウソは陸上でも水中でも生活できるため、体毛は二層構造になっています。水を弾く長い外毛と、保温性に優れた短く密集した内毛が特徴です。この工夫により、皮膚が濡れないようになっています。



「獺(たつ)」という漢字で表されるカワウソは、「天を頼りとする獣」という意味があります。川岸で捕った魚を並べる習性から、この名前が付けられたとされています。ちなみに、海獺はラッコと呼ばれ、カワウソと似た特徴を持っています。

日本酒の「獺祭(だっさい)」もカワウソから名前を取ったとされ、カワウソYouTuberが200万人の登録者を誇るなど、カワウソの人気はますます上昇中です。

③カワウソと税理士

カワウソと税理士には共通点があります。

1. 社会適応能力

カワウソは社会的で群れを好む動物です。群れで行動することで、互いに助け合いながら生活し、生存を支えています。彼らは他者との協力や関係性を大切に、集団の中での役割分担もしっかりと行います。また、水と陸の両方で生活するため、環境に柔軟に適応する能力も持ち合わせています。

税理士もまた、様々な顧客や企業と関わり合いながら業務を行います。顧客のニーズや状況に応じて、適切な税務や会計のアドバイスを提供します。税法や規制の変化に対応し、顧客の利益を最大化するために努めます。

そのためには、広範な知識と深い理解が求められ、専門的なスキルを磨くことが重要になってくると考えます。

2. 共感性

私のぬいぐるみもそうですが、カワウソは愛らしく社交的な性格から、人間との触れ合いやコミュニケーションを楽しむことがあります。彼らの行動や表情からは、相手の感情を読み取り、共感する能力が感じられます。特にカワウソ同士のコミュニケーションや遊びが観察されることもあり、集団での共感性の豊かさがうかがえます。

また税理士も顧客との信頼関係を築くために、共感性が重要だと考えます。顧客の立場を理解し、それに基づき最適な助言や支援を提供します。時には顧客の経済的または法的な困難に共感し、的確な解決策を提案することが求められます。こうした共感性は、税理士が単なるアドバイザーを超えてパートナーとして認められるために不可欠だと思います。

おわりに

夜も更けて寝ようとベッドに向かうと、先ほどの「ちょこんと座ったカワウソ」が、今度は「調べてくれてありがとう」と言いたそうな、満足気な表情を浮かべていました。

(文:久保 美知華)

